

向原小学校等 複合施設 基本構想を 策定しました



▲現在の向原小学校

区学校施設計画課 (☎5722-9307、FAX5722-9333)

学校の建て替えに当たっては、教育環境の充実を図るとともに、地域コミュニティの拠点として周辺施設との複合化を積極的に進めています。

向原小学校は施設の老朽化の状況から、4年度より建て替えに向けた取り組みに着手しており、向原住区センターとの複合化を予定しています。学校、保護者、地域の方々からご意見を頂きながら、4年12月に向原小学校等複合施設の基本構想を策定しました。

計画概要

所在地 目黒本町6-7-15
規模・構造 地上4階・鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
新校舎の完成時期 9年度中

複合化する施設

- 区民交流活動室(仮称)
- 地域活動拠点(仮称)
- 児童館
- 学童保育クラブ

複合施設基本構想(全文)は、区HP(コード①)でご覧になれます。



①

防災ボランティア



平成7年1月17日の阪神・淡路大震災をきっかけに、1月17日を防災とボランティアの日、1月15～21日は防災ボランティア週間と定められています。

防災ボランティアは、救護活動だけでなく、復旧・復興の取り組み、平常時の訓練、防災意識の啓発など、さまざまな活動があります。募集は随時しています。

災害時支援ボランティア

区目黒消防署 (☎3710-0119、FAX3794-4196)

区内で震度6弱以上の地震や大規模自然災害・事故などの発生時に、任意で消防署の支援活動を行う登録制ボランティアです。15歳以上(中学生を除く)で、原則区内に在住・在勤・在学などの要件を満たすかたが登録できます。

主に応急救護活動や消防署の支援を行い、平常時は地域の防災訓練などで指導をします。詳細は東京消防庁HP(コード②)をご覧ください。



②

防災語学ボランティア

区文化・交流課交流推進係 (☎5722-9291、FAX5722-9378)

災害時、日本語の分からない外国籍の区民などを支援するボランティアです。避難所などでの災害情報の通訳や翻訳のほか、外国語での問い合わせや相談への対応等を、無理のない範囲で行います。

資格は不要で、現在、英語・スペイン語・中国語・インドネシア語など10カ国語で、56人が登録しています。詳細は区HP(コード③)をご覧ください。



③

エンディングサポート 講演会・相談会

区権利擁護センター「めぐろ」(☎5768-3964、FAX5768-3965)

おひとりさまの終活、自分らしい老後と最後の準備は、いつ・どのように始めたらいいのか。将来に不安を抱えているかたを対象に、終活をテーマにした講演会と相談会を開催します。気軽にご参加ください。

●講演会

「おひとりさまの終活～自分らしい老後と最後の準備」

時 2月25日(土) 14:00～16:00

場 ①総合庁舎別館4階目黒区社会福祉協議会

②会議アプリZoomによるオンライン

内 終活の始め方や進め方を、実体験を交えながら解説

師 ノンフィクションライター

中澤まゆみ氏(右写真)

対 区内在住・在勤者 定 ①10人②50人(各先着)

申 ①は電話、②はEメール(講座名、氏名〈ふりがな〉、電話を記入)で、1月16日～2月20日に、申込先(下記参照)へ



●相談会

時 2月27日(月)・28日(火) 13:30～16:30(1人45分)

場 総合庁舎内相談室

相談員 弁護士・司法書士

対 区内在住・在勤者 定 6人(先着)

申 電話で、1月16日～2月20日に、申込先(下記参照)へ

申込先

権利擁護センター「めぐろ」(☎5768-3964、FAX5768-3965、✉kenri@meguroshakyo-i.net)

家族のためのひきこもり学習会 「ひきこもりサバイバルプラン ～親亡きあとを見すえて」

区目黒区社会福祉協議会(☎5708-5792、FAX3711-4954)

何かがきっかけとなってひきこもり状態になることは、誰にでも、いつでも起こりうることです。中でも子どものひきこもりは、親亡き後の生活が心配という声が多く聞かれます。

社会とつながることが難しい子どもの暮らしをどう守るか、ファイナンシャルプランナーとして生活設計の相談を長年受けてきた講師を迎え、学習会を開催します。詳細は申込先HP(コード④)をご覧ください。



④

時 2月11日(土) 14:00～16:00

場 めぐるパーシモンホール

(八雲1-1-1 区民キャンパス内)

師 ファイナンシャルプランナー

畠中雅子氏(右写真)

定 50人(先着)

申 電話、FAX・Eメール(講座名、住所、氏名〈ふりがな〉、電話を記入)で、目黒区社会福祉協議会(☎5708-5792、FAX3711-4954、✉sasaeai@meguroshakyo-i.net)へ



コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)は、ひきこもりに関する支援に取り組んでいます

ひきこもり状態への理解を深め、家族や周りの人たちができることを考えるため、関係機関と連携し、学習会を開催するほか、同じ悩みを抱える方々が思いを分かち合う家族会の支援を行っています。詳細は、目黒区社会福祉協議会にお問い合わせください。